

● みんなの願いがここにも！

1803年 豆腐屋を兼務しながら旅館業を営み、約200年の間“玉造の湯”を守り続けている“玉造グランドホテル長生閣”の小川部長様にお話を伺いました。

今までの玉造温泉街は、団体客向けの集客を行っていたが、リーマンショック以降、団体客の宿泊が減ったため、島根県、松江市、温泉街等と共に、新たな“玉造温泉街”を再考し、宿泊客が安全に歩け、安心して温泉を楽しめる街作りを目指した結果、今の温泉街が出来ました。ある女性客の玉造湯神社の願い石による良縁を、インターネット上に掲示したことで玉造温泉の知名度が全国的に広がりました。

出雲大社の平成の大遷宮、縁結びの神、パワースポット等の話題もあり、今では女性客が1年を通して多くなってきています。

また、温泉旅館協同組合の防災活動として、防災委員をそれぞれの旅館から選出していることで、各委員間の連携がより強くなり、安全・安心な温泉街を作ることができました。

女性客の宿泊が多い理由の一つが温泉の泉質です。玉造温泉の泉質は、低張性弱アルカリ泉であり硫酸イオンを多く含んでいるため、美肌効果に大きな期待があります。当旅館の“めのう風呂”は赤・青・白のめのうをふんだん敷き詰めた大風呂があり、時を忘れてゆったりとした気分になさしてくれます。また、玉造温泉街では7月より夏祭りが企画されています。毎夜出店や、バンド演奏・ダンス・安来節等など、多くの催し物が企画されていますので、女子会での宿泊やご家族連れの皆さまのご宿泊をお待ちしています。

この夏は、是非時間を作って玉造温泉へお出かけください。



玉造グランドホテル長生閣の「旅の思い出」時の絵馬

